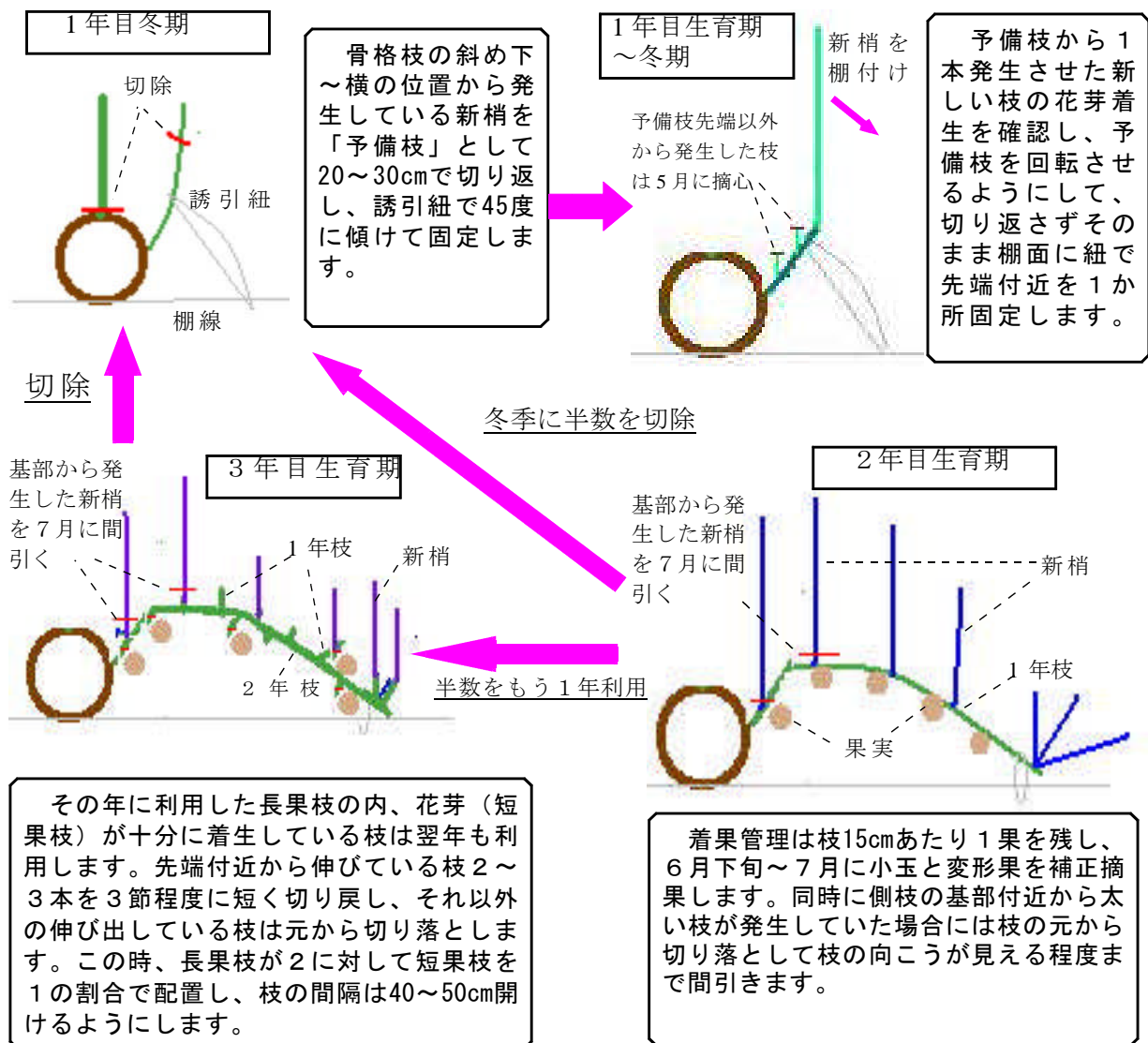


ニホンナシ「幸水」の簡易なせん定法

埼玉県は全国第8位のナシ生産県ですが、高樹齢化による生産性の低下と担い手不足が問題となっています。

そこで、高度な技術と経験を要する篤農家技術をパターン化し、未経験者でも取り組める平易なせん定法を開発しました。①骨格枝から発生した新梢を45度に傾けて予備枝にします。②予備枝先端から伸長した長果枝を切り返さず棚に固定、枝間隔は40cm開けます。③側枝には15cm当たり1果を残し、側枝途中から発生した太い新梢は7月に1回間引きます。④短果枝としてもう1年利用してから元から切ります。以上の方法をパターン化して取り組むことで、初心者でも一定の収穫量を確保できるようになります。

枝の更新サイクル・・・パターン化できれば悩まずに作業が行えます。



せん定作業は翌年の状態を予想して行うことが大切です。自分の切り方で樹がどう反応したのかを観察して次のせん定に活かしましょう。